

令和6年度千葉県相談支援従事者現任研修 セルフチェックシート（個別相談支援）

以下の項目について、○（理解し実践できている）、△（理解しているが実践できていない）、×（理解していない）、を記入してください。

1. 意思決定支援

(チェック欄)

| | | |
|---|--|--|
| 1 | 相談支援において「本人の意向を無視していないか」を意識することの必要性 | |
| 2 | 相談支援において「本人の言葉の意味を吟味しているか」をその都度考えることの必要性 | |
| 3 | 相談支援において「支援者の都合が優先されていないか」を常に考えながら関わることの必要性 | |
| 4 | 計画作成時「既存の社会資源だけが支援の前提になっていないか」を見直すことの必要性 | |
| 5 | 相談支援のプロセスにおいて「先に支援者の結論ありきで話を進めていないか」を振り返ることの必要性 | |
| 6 | 本人や家族等から、育ってきた環境のなかで興味を持ったこと、楽しかったこと、楽しいときや嫌なときの表情などを知ることの意味 | |

2. インテーク

(チェック欄)

| | | |
|---|---------------------------------------|--|
| 1 | 信頼関係の基礎を構築するための大事な場面 | |
| 2 | 福祉サービスに限定したやり取りではなく、主訴等の背景を丁寧に聴くことの意味 | |
| 3 | 今後の相談支援の見直しを説明し、利用者から同意を得ることの必要性 | |

3. アセスメント

(チェック欄)

| | | |
|---|--|--|
| 1 | アセスメントは、利用者から表出されるすべてが大切な情報である | |
| 2 | 生活歴を丁寧に聴きアセスメントシートに落とし込むことは、利用者への理解が深まることになる | |
| 3 | ストレングスは、健康な側面に着目した「本人のポジティブなところ、強み」であり、支援には欠かせない視点であることから、対話のなかで常に意識する | |
| 4 | 情報の整理は、利用者から得た情報をその都度整理し、エコマップやジェノグラム等のツールを活用することの有効性 | |
| 5 | アセスメントの能動性・構成力を高めるには事例検討やグループスーパービジョンなどの場面に参加することの重要性 | |

4. モニタリング

| | | |
|---|--|--|
| 1 | 基本相談支援で得られた情報による支援者の見立てがモニタリングに影響している | |
| 2 | サービス利用の有効性だけでなく、人との関係性や環境の変化など、多角的な視点をもってモニタリングを行うことの重要性 | |